令和７年度　指定管理施設検証結果報告書

PLAN

施設名	甲州市塩山B＆G海洋センター				検証日	令和8年7月2日
所管課担当名	生涯学習課　スポーツ振興担当		課長名	坂本　豊	作成者名	武藤　剛

指定管理者	名称	株式会社　フィッツ				
	代表者	代表取締役　橋本　篤幸				
	所在地	山梨県甲斐市玉川181番地				
	指定期間	令和3年（2021年）4月　～　令和8年（2026年）3月				
管理施設の概要	施設所在地	甲州市塩山小屋敷1888番地3				
	設置目的	市民の健康増進及び青少年の健全育成を図るために、公益財団法人ブルーシー・アンド・グリーンランド財団から無償譲渡を受けた甲州市塩山B＆G海洋センターを設置する				
	利用者	市民及び市民以外	施設管理体制	16名	開館日時間等	9：30　～　21：30 （毎週月曜日・年末年始・臨時休館を除く）

事業概要

サービス提供の内容

指定管理業務

（1）海洋センターの利用の許可に関すること
（2）海洋センターの施設及び設備器具の維持保全に関すること
（3）海洋センターの利用に係る料金に関すること
（4）海洋センターの管理に関し教育委員会が必要と認めること

自主事業

【プール】（1）スイミングスクール・夏休み水泳教室（幼児～高校生）　（2）大人のための各種スポーツ教室（足ひれ水泳教室・アクティブシェイプ等）
（3）小学校初心者水泳授業　（4）水の安全教室（市内保育園）
（5）着衣泳・防災教室（県内B＆G指導者会と連携）　（6）カヌータイムトライアル、クリーンフェスティバル（県内B＆G指導者会と連携）
(7)市内外からの合宿誘致　（8）泳力検定会（バッチテスト）の開催　（9）サップ教室
【トレーニングルーム】（1）初心者スクール
【その他】（1）大人のための各種スポーツ教室（ヨガ）　（2）謎解きフィールドアドベンチャー　（3）海のごみゼロアドベンチャー　（4）体力アップ教室

DO

管理運営コスト推移（千円）		令和３年度（指定期間1年目）	令和４年度（指定期間2年目）	令和５年度（指定期間3年目）	令和６年度（指定期間4年目）	令和７年度（指定期間5年目）
予算	指定管理料	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000
	利用料金収入	2,000	2,200	2,550	2,800	2,600
	その他収入	15,000	16,000	19,000	18,600	25,800
	管理運営経費	42,000	500	600	46,400	53,400
決算	指定管理料	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000
	利用料金収入	2,138	2,363	2,708	2,497	2,349
	その他収入	17,007	18,063	18,955	25,882	24,336
	管理運営経費	46,070	46,231	46,557	50,265	51,602
	収支	-1,624	-805	106	2,875	83

施設の稼動状況		令和３年度（指定期間1年目）	令和４年度（指定期間2年目）	令和５年度（指定期間3年目）	令和６年度（指定期間4年目）	令和７年度（指定期間5年目）
指標	温水プール利用者数(人)	24,132	26,994	30,500	34,570	33,973
	トレーニングルーム利用者数(人)	4,141	4,569	5,436	5,123	5,685

活動結果

（利用状況）プールについては、前年比98.2%（597名減）と下回った。夏場は熱中症アラート発令による外出控のため来館者が伸びなかったこと、また冬場に降雪や寒波の影響がある中、ボイラー故障が重なったことが、夏以降の安定した利用者増加とならなかった要因と考えられる。トレーニングルームについては、前年比110.9%（562名増）であり、自主事業による初心者スクール等の実施の効果が現れていると考えられる。

CHECK

評価観点	評価（5 4 3 2 1）高 → 低	評価の説明
（1）事業の運営	4	基本協定書及び事業計画書に基づき、適切に管理運営が行われている。 青少年育成事業スイミングスクールや健康増進事業短期健康教室等を実施し、利用者の確保に努めている。小学生初心者水泳事業や着衣泳体験等は、安全に水に親しむ取り組みとして実施しており、地域に貢献している。自主事業の展開、事業内容の見直しによる職員の適正配置を行っている。
（2）施設の維持管理	3	設備等は定期的に点検等を実施し、老朽設備等についてもメンテナンス及び軽微な修繕を計画的に実施しながら維持管理に努めている。衛生面に留意し、日常の清掃を徹底するなど、常に施設を清潔に保つ努力が図られている。 周辺環境の保全及び衛生管理の徹底や職員への研修実施によるスキルアップなどが図られている。
（3）収入支出	3	物価高騰の影響により、光熱水費、特に燃料費が３割以上増大する状況であったが、経費の縮減に向けた努力により、また自主事業を積極的に開催したことにより、利用者数を維持し、収支バランスを維持した収入を確保している。
（4）総合評価 優良　良好　妥当　要改善　不適	良好	総合評価の説明（施設所管課による一次評価） 基本協定書及び事業計画書に基づき適切な管理運営が行われていた。物価高騰の影響により光熱水費や人件費が増大となり予算超過したが、自主事業の拡大や業務効率化と経費適正化を行ったことで収支バランスを維持しており、安定した施設運営・管理ができていると評価できる。

ACTION

評価結果に対する施設所管課の対応

当面の課題	令和８年度には、大規模改修工事を施工するため１月末まで休館となるが、その間、積極的な自主事業による利用者の維持と、改修後の利用者増加に向けての事業検討を行っていく必要がある。
課題解決への対応	指定管理者と協力しリニューアルオープンイベント開催を予定すると共に、利用者拡大に向け連携して事業を進めていく。

二次評価（公共施設活用等検討委員会での総括意見）

・仕様書及び協定書のとおり適切に運営されている。
・施設維持管理については、定期的な保守及び計画的な修繕、更新がされている。
・物価高騰がある中で燃料費等が増加しているが、自主事業により収入を増加させたことは評価したい。
・引き続き利用者サービスの向上を図り、創意工夫とノウハウを活かした取り組みを行っていただきたい。